

横浜市感染症発生動向調査報告（令和5年6月）

《今月のトピックス》

- 梅毒が20歳代～50歳代を中心として多く発生している他、性器クラミジア感染症などの性感染症も増加しており、注意が必要です。
- 腸管出血性大腸菌感染症は、集団感染も含め、患者数が増加しています。
- 新型コロナウイルス感染症は幅広い年齢層で患者が発生しています。
- ヘルパンギーナなど、子どもの感染症の報告が多くなっています。

◇ 全数把握の対象

＜6月期に報告された全数把握疾患＞

腸管出血性大腸菌感染症	51件	急性脳炎	1件
パラチフス	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3件
E型肝炎	3件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	3件
レジオネラ症	6件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2件
アメーバ赤痢	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	9件
ウイルス性肝炎	1件	水痘(入院例に限る)	2件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3件	梅毒	37件

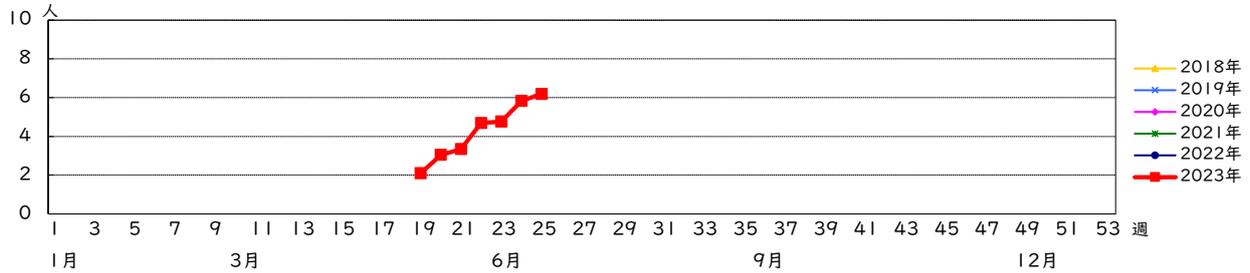
- 1 **腸管出血性大腸菌感染症**:10歳未満～90歳代で、血清群O157が42件、O26が2件、O111が2件、Og5が1件、O103が1件、Og156が1件、O166が1件、O血清群不明が1件です。接触感染と推定される報告が35件、経口感染と推定される報告が6件、経口または接触感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が9件ありました。市内認定こども園での集団感染事例(二次感染含む)が38件含まれています。
(令和5年5月30日記者発表)
- 2 **パラチフス**:30歳代で、経口感染(国外)と推定される報告が1件です。
- 3 **E型肝炎**:20歳代～40歳代で、いずれも感染経路等不明です。
- 4 **レジオネラ症**:30歳代～80歳代で、水系感染と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が4件ありました。
- 5 **アメーバ赤痢**:50歳代で、感染経路等不明です。
- 6 **ウイルス性肝炎**:30歳代で、感染経路等不明です。
- 7 **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:60歳代～70歳代で、いずれも感染経路等不明です。
- 8 **急性脳炎**:90歳代で、感染経路等不明です。
- 9 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:60歳代～90歳代で、いずれも血清群はG群、創傷感染と推定されています。
- 10 **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:40歳代～60歳代で、性的接触(同性間・異性間1件、詳細不明1件)と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が1件ありました。
- 11 **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:10歳未満(ワクチン接種歴4回1件、3回1件)で、いずれも感染経路等不明です。
- 12 **侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳未満～70歳代(ワクチン接種歴4回3件、3回2件、2回1件、1回1件、無2件)で、接触感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が8件ありました。
- 13 **水痘(入院例に限る)**:60～70歳代(ワクチン接種歴無1件、不明1件)で、いずれも感染経路等不明です。
- 14 **梅毒**:20歳代～80歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期20件、早期顕症梅毒Ⅱ期10件、無症状病原体保有者7件です。性的接触による感染と推定される報告が33件(異性間26件、同性間3件、詳細不明4件)、感染経路等不明の報告が4件ありました。

◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第21週	5月22日～ 5月28日
第22週	5月29日～ 6月 4日
第23週	6月 5日～ 6月11日
第24週	6月12日～ 6月18日
第25週	6月19日～ 6月25日

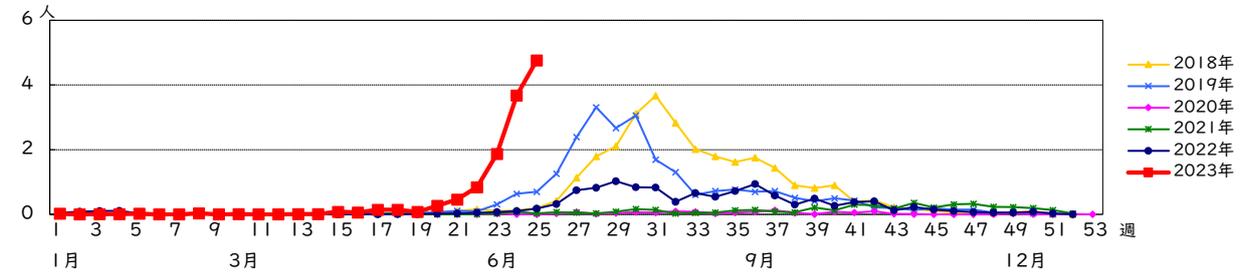
1 新型コロナウイルス感染症:

2023年5月8日(第19週)以降は定点報告となりました。
第19週は2.10で、以降増加が続き、第23週4.76、第24週5.83、第25週6.19と推移しています。



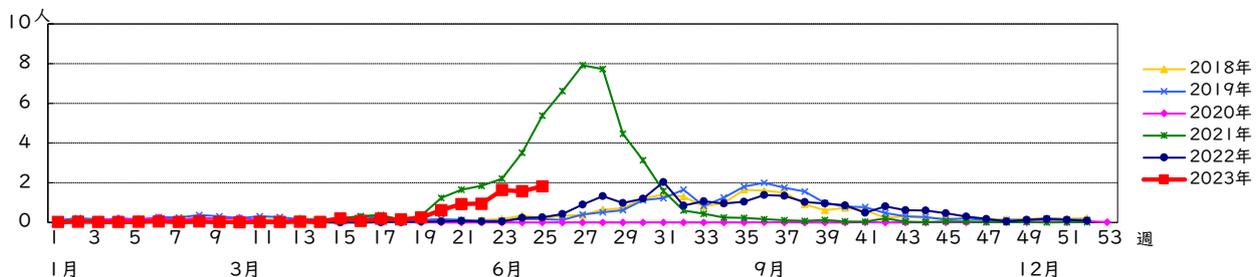
2 ヘルパンギーナ:

2023年第20週(0.27)以降増加しはじめ、第21週0.46、第22週0.84、第23週1.87、第24週3.67、第25週4.76と急増しています。



3 RSウイルス感染症:

2023年第19週(0.26)以降増加しはじめ、第20週0.62、第21週0.93、第22週0.94、第23週1.64、第24週1.57、第25週1.82と推移しています。



4 性感染症(5月)

性器クラミジア感染症	男性:40件	女性:24件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 4件	女性:15件
尖圭コンジローマ	男性:11件	女性: 2件	淋菌感染症	男性:19件	女性: 6件

5 基幹定点週報

	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

6 基幹定点月報(5月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	10件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

6月期(2023年第21週～第25週)に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点48件、内科定点1件、基幹定点6件及び定点外医療機関3件でした。

ウイルス分離9株及び各種ウイルス遺伝子51件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2023年第21週～第25週)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	臨床症状											
	上気道炎	下気道炎	インフルエンザ	急性肝炎疑い	低月齢発熱	手足口病	発疹	ヘルパンギーナ	敗血症・腸炎疑い	菌血症疑い	口内炎	脳症
コクサッキーウイルスA2型	- 2							- 1				
コクサッキーウイルスA4型	- 1	- 1						2 -				
アデノウイルス		- 2								- 1		
アデノウイルス1型				- 1								
アデノウイルス2型	1 1	1 1										
アデノウイルス41型				- 1								
ライノウイルス	- 5			- 1						- 1		
RSウイルス	- 3	- 6										
RSウイルス(サブグループA)		- 1										
ポカウイルス	- 2	- 1										
ヒトコロナウイルス*	- 1	- 2										
インフルエンザウイルスAH1pdm			1 -									
インフルエンザウイルスAH3			2 -									
パレコウイルス3型					- 2	- 1	- 1					
パラインフルエンザウイルス3型	- 4	1 5								- 1		
パラインフルエンザウイルス4型		- 2										
単純ヘルペスウイルス1型									1 -			
合計	1 19	2 21	3 -	- 3	- 2	- 1	- 1	2 1	1 -	- 3	- -	- -

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

*ヒトコロナウイルス:HCoV OC43

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

6月期(2023年第21週～第25週)の「菌株同定」の検査依頼は、基幹定点から腸管出血性大腸菌2件、パラチフス1件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌2件、侵襲性肺炎球菌1件、サルモネラ属菌2件でした。非定点からの依頼は、非結核性抗酸菌(NTM)3件でした。保健所からの依頼は、腸管出血性大腸菌13件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌2件、侵襲性肺炎球菌5件、劇症型溶血性レンサ球菌2件、侵襲性インフルエンザ菌1件でした。

「分離同定」の検査依頼は、基幹定点から細菌遺伝子検索が2件、非定点からボレリア1件、保健所からレジオネラ属菌3件でした。

「小児サーベイランス」の検査依頼は、咽頭炎4件、胃腸炎・腸炎2件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2023年第21週～第25週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
医療機関	腸管出血性大腸菌	2	O157:H7 VT2 (2)	
	パラチフス	1	<i>Salmonella</i> Paratyphi A (1)	
	基幹定点 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌	2	<i>Klebsiella aerogenes</i> (1)、 <i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)	
	侵襲性肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 10A (1)	
	サルモネラ属菌	2	<i>Salmonella</i> Newport (1)、 <i>Salmonella</i> Panama (1)	
非定点	非結核性抗酸菌(NTM)	3	<i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>massiliense</i> (2)、 <i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>abscessus</i> (1)	
保健所	腸管出血性大腸菌	13	O157:H7 VT1 VT2 (2)、O157:H7 VT2 (2)、 O157:H- VT2 (1)、O26:H11 VT1 (2)、 O111:H- VT1 (2)、O103:Hg8 VT1 (1)、 Og156:H25 VT1 (1)、Og5:H- VT1 VT2 (1)、 O166:Hg15 VT2 (1)	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌	2	<i>Klebsiella aerogenes</i> (1)、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)	
	侵襲性肺炎球菌	5	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 15B (1)、 <i>Streptococcus pneumoniae</i> 15C (1)、 <i>Streptococcus pneumoniae</i> 24B (1)、 <i>Streptococcus pneumoniae</i> (2)	
	劇症型溶血性レンサ球菌	2	G群溶血性レンサ球菌 (2)	
	侵襲性インフルエンザ菌	1	<i>Haemophilus influenzae</i> (1)	
分離同定	材料	項目	検体数	同定、血清型等
医療機関	基幹定点 血液培養 好気ボトル	細菌遺伝子	1	16S rRNA遺伝子 PCR陰性
	血液培養 嫌気ボトル	細菌遺伝子	1	16S rRNA遺伝子 PCR陰性
	非定点 血液	ボレリア	1	ライム病ボレリア PCR陰性、 回帰熱群ボレリアPCR陰性
保健所	喀痰	レジオネラ属菌	3	培養陰性 (2)、 <i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)
小児サーベイランス	材料	臨床症状	検体数	同定、血清型等
小児科定点	咽頭ぬぐい液	咽頭炎	4	A群溶血性レンサ球菌 TUT 陽性 (3)、 培養陰性 (1)
	直腸ぬぐい	胃腸炎・腸炎	2	消化器系病原菌 陰性 (1)、 <i>Staphylococcus aureus</i> entA (1)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】